

News Letter

「乳児嘔吐下痢症」

小児科 武市 知己

冬から春先にかけて、乳幼児を中心として、嘔吐と下痢を主症状とするウイルス感染症が流行します。冬の初めはノロウイルスで、これからの季節はロタウイルスというウイルスが主な病原ウイルスです。

多くは突然の嘔吐が始まり、前後して下痢が出現します。嘔吐は病初期には頑固ですが、多くは1日ほどで軽減し、一方、下痢は黄白色から白色の水様便で1週間以上続くこともまれではありませぬ。そして発熱や、時に咳や鼻、けいれんなどを伴います。嘔吐が続いても、顔色や機嫌が良ければ数時間ほど自宅様子を見てかまいませんが、嘔吐が激しい時や強い腹痛を思わせる時には病院を受診しましょう。

治療は吐き気止めや下痢止め、脱水に対する点滴などの対症療法を行います。なお、ウイルスは下痢便に排泄され経口的に感染するので、お子さんの下痢が改善するまで保育園などはお休みしましょう。

嘔吐や下痢の時の食事について説明します。嘔吐が続く時でも、顔色が良ければ、吐き気止めの坐薬などを使って少量ずつ水分を与えてみてみましょう。ただし、坐薬の効果発現（30分～1時間後）までは水分もひかえま

「IC委員会」

IC委員会

2口ずつ開始しますが、大丈夫と思っても数時間は少量ずつ（20～30mlずつ）20～30分毎くらいが目安）がよいでしょう。母乳はおなか

※市販のイオン飲料は手軽で比較的吸収のよい飲み物ですが、塩分と糖分のバランスが悪く（塩分は低く糖分は高い）が多飲みの注意が必要で、塩分と糖分のバランスは、水1リットルに対して、①塩約2g（小さじ約1/2）、②砂糖約40g（大きじ約5杯）を目安とし、これに③オレンジの絞り汁や野菜の煮汁でカリウムを加われば申し分ありません。

IC委員会は院内感染の防止のための活動をしています。ICとは「Infection Control（感染管理）」の頭文字をとったものです。皆様の身近なところでは、全ての病室の入口に速乾性の手指消毒剤を置き、医療スタッフだけでなくお見舞いの方々にも、病室へ入る前に手指消毒剤をギュッと一押し分手にとって手の消毒をして頂いています。

「くすのき委員会」

くすのき委員会

くすのき委員会は、患者さんへのサービスの向上を目的として活動しています。17年度も終わろうとしていますが、「何度も同じ意見が寄せられないか」との意見もいただきました。

多くのご意見が寄せられる接遇や待ち時間については、効果をあげることが難しい状況ですが、取り組みは続けております。接遇については、項目を設定し、各部署でチェックを行い、意識の向上に努めています。待ち時間についても、待ち時間調査を実施して現状を把握したり、予約患者さんの診察前検査の入り漏れの防止策を設けました。今後とも、継続して取り組んでまいります。

IC委員会には、院内感染を防ぐための手順をまとめたマニュアルを作成し、そのマニュアルがきちんと順守されるよう定期的に研修会を開催したり、医療現場を巡回してその場で指導や現場スタッフと話し合いを行なっています。



全ての病室の入口にあります。

平成17年度改善事項

ご意見の内容	改善内容
(外来関係) 患者さんが待合室にいても、時間内診療終了時に照明が消える。	外来終了時刻を調べたうえで、消灯時刻を見直した。
予約患者さんの診察前検査のパソコンへの入力漏れにより、患者さんをお待たせしている。	入力漏れの防止体制を設けた。
緊急患者さんからの問い合わせの電話がたらいまわしにされた。	症状を伺い緊急性を判断し、受診対応を行う看護師を配置し、速やかに連絡をとれる体制にした。
外来手術予約の変更が医師に伝わっていないかった。	診察・検査・手術等の予約変更について、医師への連絡体制を見直した。
産婦人科待合の妊婦さんへの保健指導は、会話が他の人にも聞こえる。もう少しプライバシーの保てる場所では？	患者さんのプライバシーを保てるよう、リハビリ訓練室近くの診察室で実施するよう変更した。
氏名で呼び出されると、近所の人等にとの診療科に通院しているか知られてしまう。	診察室への呼出について、希望者には番号による呼出で対応するようにした。
聴覚障害者は電話で通話できないので、予約変更ができない。ファクスで対応してほしい。	聴覚障害のある方について、ファクスによる予約変更の受付開始。
小児科外来のトイレに荷物置き場がほしい。	荷物棚を設置。
薬局のカウンターに呼出用ベルを置いてほしい。	ベルを設置。
海外出張のため複数の予防接種を5種類頼んだ。その中の2種類はできないと言われたが、後日もう一度頼むと1種類は接種できた。残りのものも接種可能だったのでは？	ワクチン各種の在庫の有無および取り寄せの可否をリストにし、外来部門に周知した。
(入院関係) 脱衣所には窓も扇風機もない。入浴後のさっぱりした気分が台無しだ。	各病棟の脱衣所に扇風機を設置した。
各階に少なくとも良いので本を置いてほしい。	談話室に少し置いてあったが、長期間置かれていたため、入れ替えを行った。
(その他) 東西玄関の夜間出入口案内板は目立たずわかりづらい。	目立つように照明を設置し、案内板も修理した。
屋上の藤や中庭のクスノキに元気がない。	樹木医に診てもらい、剪定し肥料を与えた。

ご意見の集計

18年1月25日～18年2月20日回収分

- 医療について(6件)**
 - マンモグラフィをした。最新の機械で期待していた。物のように扱われ、長時間にわたり何回も痛い思いをした。なにか良い方法はありますか。
 - 午後的小児外来は、慢性と急性の患者を分けて診察していますが、一人は慢性で一人は急性の子供を連れてお母さんがどちらで待つべきか迷っていた。急性の子供を連れて私は、その方の子供を一人預かった。外の待合はテレビもなく寒いので、子供を待たせるのに苦労する。中待ちは、慢性のお母さんが2人だけ待っていた。(ほか4件)
- 待ち時間について(5件)**
 - 各診療科で終わっても受付で長いので、もっと早くしてほしい。けんみんに来ると半日では終わらない。(ほか4件)
- 接遇について(3件)**
 - 婦人科の先生は、患者が一生懸命症状を訴えているのに、半分くらいしか話を聞いてくれず、診察を打ち切る。とても失礼です。(ほか2件)
- 施設管理について(3件)**
 - どこの車椅子も空気が少ない。ひどいのはゴムがぼろぼろ。きちんと点検してほしい。
 - 4床室のテレビのうちの1台に立派な説明書があり、わかりやすかった。ほとんどのテレビにはついていないようなので、調べてみてください。(ほか1件)
- 食事について(2件)**
 - この病院の食事メニューは、あまり食べる側のことを考えたものとは思えません。「魚禁」とか人の代用メニューが料理にも出て、2日連続同じ物を食べなくてはなりません。その上、全く味のしない奇妙な料理も出たりします。
 - 食後の食器等の引き揚げ時間が早すぎます。健康者は持っていきませんが、輸液ポンプを3つつけた者にとっては到底間に合わない。他の病院では別に置き場があります。もう少し引き揚げ時間を遅くしてほしい。
- 禁煙について(1件)**
 - 救急外来出入口の喫煙場所を取ってもらいたい。吸わない者にとっては煙がなくても残り香が息苦しいものだとわからないでしょう。元気な人だけでなく、小さな子供を連れている人も苦しいのです。
- くすのき委員会について(1件)**
 - 同じご意見が何度も出ているので、これまでの要望を再検討してどうか。これまでのご意見で改善されたものは少ないのでは？ 自分としてはほとんどないに等しいと思います。
- 感謝(4件)**
 - 一昨年、乳癌で3週間入院した。覚悟した以上に落ちましたが、優しい主治医はもとより、若いナースの方々の明るい笑顔にすいぶん救われました。薬剤料の〇〇さん、たくさん話を聞いてくれてありがとう。今日は1年目の検診。無事であることを祈ります。
 - 昨年末、けんみん病院に入院中の母が亡くなりました。3年3ヶ月の間、最後まで意識は戻りませんがどのような状態であろうと、いつも変わらない笑顔と温かい心で接して下さったこと、本当に有り難い気持ちです。婦長さんをはじめ看護師の皆様の懸命な仕事ぶりに頭が下がります。(ほか2件)
- その他(1件) 合計26件でした。

病院の理念	私たちの目指す医療(基本方針)
1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。	1. 正確で間違いのない医療
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。	2. 十分に説明をする医療
	3. 透明性を大切にす医療
	4. 患者さんの希望を大切にす医療

「朝ごはん食べてますか？」
花のつぼみが春の暖かい風にゆるる季節になりました。1日の始まりは美味しい朝食から……と言いたいのですが、育ち盛りの小・中学生や20～30代の若い世代に朝食を食べない人が増えています。

朝食には、寝ている間に低下した体温を上げる作用があり、活動するためのウオーミングアップの役割があります。もし食べない脳のエネルギー源であるブドウ糖が不足してしまいうめ、授業に集中できない、仕事でミスをしてしまう、やる気が出にくい状態になります。

バランスのよい朝食をきちんと食べること、身体も脳も元気になるんです。充実した一日のために朝食を食べることとは大切なことなのです。また、便秘解消や肥満予防などにもなります。

「もう何年も朝食を食べていないから……という人も、まずはコップ一杯の牛乳や好みの生果物など食べやすいものから始めてみましょう。そして、夕食や夜食を食べる量など3食分の栄養バランスと食べるタイミングも見直してみることが大切です。昼夕と外食が多い方は朝食に積極的に野菜を食べるとよいでしょう。」

- 研修予定**
 - 3月27日 MCカンファレンス
 - 3月28日 患者様向け
 - 4月4日 糖尿病教室
 - (日常生活の注意点①)
 - 4月6日 外食・嗜好品の注意点
 - (栄養・妊娠中の異常)
 - 4月13日 母親学級
 - (妊婦体操・お産の準備)
 - 4月18日 糖尿病教室
 - (日常生活の注意点②)
 - (食事の基本)
- 診療体制変更のお知らせ**
 - 近年、医師の人材確保が大変難しくなっており、やむを得ず平成18年4月1日から診療体制を変更せざるを得なくなりました。
 - 皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。
 - 呼吸器科の専門医確保の目途(へめ)が立たないため、当分の間呼吸器科の診療を休止させていただきます。
 - 耳鼻咽喉科医師が1名となるため、外来診療は月・水・金曜日の午前1診体制で行います。
 - 精神科及び神経内科は、高知大学からの派遣医師により木曜午後と金曜午前の診療とさせていただきます。

2月の統計

外来患者数	16,821人
紹介患者数	2,096人
新入院患者数	496人
新退院患者数	502人
平均在院日数	17日
救急車・時間外患者数	1,542人
手術件数	175件

- 幡多けんみん病院における、患者さんの権利**
- 患者さんは、良質な医療を、平等に受ける権利をもっている。
 - 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
 - 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
 - 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
 - 患者さんは人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。

